

大阪都構想の設計図が

可決

法定協議会で可決されました。

賛成 16 名
反対 3 名みんなで素晴らしい
大阪を創りましょう！

6月20日、都構想の設計図を議論する場「法定協議会」で大阪都構想の設計図が賛成16名、反対3名という圧倒的多数で可決されました。これによって議会での議論には決着がついた形となり、今後は住民投票の実施に向けて手続きを進めて行くこととなります。



市会

維新 ジャーナル journal

【発行元】

大阪市議会議員 大阪維新の会
おおうち けいじ
大内 啓治

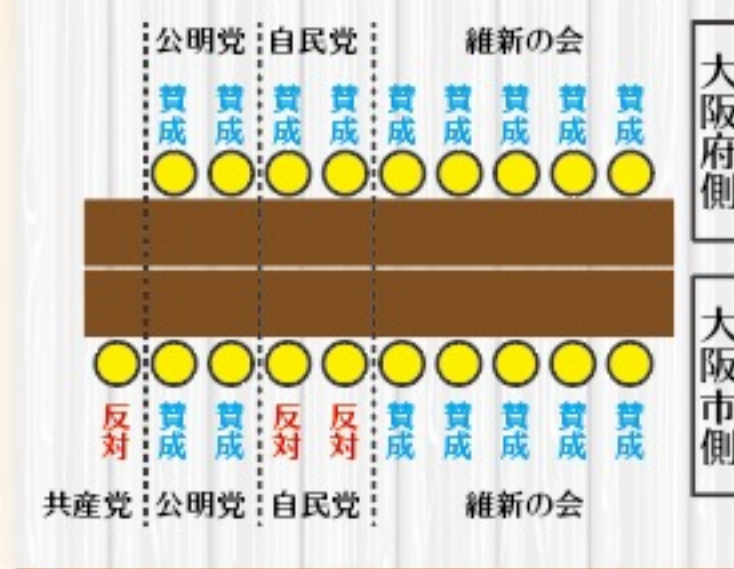
〒554-0021 大阪市此花区春日出北1丁目8番5号 TEL:06-6461-1181

豊かな大阪を目指して

都構想の趣旨は府と市の対立を解消し、持続可能な大阪の成長できる仕組みを創ることにあります。その意味で大阪全体の成長を担う府議会の委員全員が都構想の協定書に賛成したことは当然のことと言えます。

一方で、府市の再編に伴い広域権限を府に一元化することに対して大阪市議会の自民党の委員は難色を示し、自民党内でも府市の対立が鮮明になりました。これまで大阪の成長を阻害してきた、府と市の立場の違いによって政策

協議会委員の配置図と賛否



への賛否が分かれ、互いに協力できない「府市合わせ（不幸せ）」な構図が、奇しくも都構想反対派の態度によって改めて証明される結果となりました。

大阪維新の会 ならびに公明党 大阪市議団は府市の立場の違いを乗り越え、大阪全体が成長できる豊かな大阪を実現するため、全員が賛成の立場を取りました。

大事なこと
なので慎重に

住民投票に向けた

今後のスケジュール

今回の可決を受けて大阪都構想の設計図は国に送られ、総務省のチェックを受けることとなります。ここで国からの承認を受け、法定協議会に戻され、再び法定協議会での議決を経て大阪府・市議会に送付されます。最後に大阪府・市それぞれの議会で可決されれば、60日以内に住民投票が実施されることとなります。

国で設計図の承認

法定協議会で承認

大阪府・市議会にて可決

住民投票実施

この様に、都構想の設計図は何重にも
審議を重ねて住民投票にかけられます。

都構想の設計図

ポイント解説
第1回

膨大な都構想の設計図の中から、特に住民の皆様からの質問が多い項目をピックアップしてポイントで解説します。



区割りについて

前回の住民投票の際の5区案との大きな違いは3つあります。1つは区数を減らして1つあたりの区を大きくしたこと。2つはそれぞれの区にターミナル（商業集積地）を配置したこと。3つには湾岸部を1まとまりにせず分けたことです。これらは全て前回の住民投票の際に聞かれた住民意見が元になっています。



小さな区だと
財政が不安定に
ならないか心配



区数を減らして
それぞれの区を
大きく

区ごとに税収の
格差が開くのでは
ないかと不安



それぞれの区が
商業集積地を
含むように

湾岸部が1つの
区になると
津波が心配



湾岸部は2つに
分けて中心部も
含む区割りに

住民の皆様のお不安の声に寄り添い、前回の設計図よりもさらにバージョンアップしました！

財政調整について

都構想の特別区では4つの区で財政格差が出ないように互いに財政調整を行います。大阪市を4つの「市」ではなく「特別区」という馴染みのない自治体に分割するのもこのためです。

市町村間での財政調整はできない



税収の多い
A市

税収の少ない
B市

特別区間では財政調整ができる



税収の多い
A特別区

税収の少ない
B特別区

稼いでいる区は
税収を取られちゃう
ってことですか？



オフィス街からは多くの税収が入りますが、オフィスだけで都市が成立しているわけではありません。働く人たちが暮らす住宅街や、税収は生まないけれど貴重な憩いの場である緑地など様々な機能が一体となって都市を

形成しています。特別区制度はそれぞれの区の実情に応じてきめ細かな住民サービスを導入しつつ、税収はそれぞれの区が安定的に運営できるよう、大都市として一体的に財政調整をするための制度です。

新型コロナ関連の 陳情対応について

新型コロナ感染症の流行を受けて、「都構想よりコロナ対策を優先して欲しい」という陳情書が大阪市議会に提出されています。住民の皆様のご不安も当然のことだと思います。ですが、この間の大阪のコロナ対策に見るように、府と市で司令塔を一元化したことによる

対策のスピードは全国から注目を集めるようになっていきました。今は人間関係で成立している府市一元化を制度として実現しておくことは将来にわたって安心な大阪を作る上で必要不可欠と考え、維新市議団はコロナ対策と並行して都構想の議論を進めて参ります。

